

## ② 農林業の振興

### 施策指標の動き

☐で網掛けしている指標値は見込値です。

達成度を進捗率の範囲に応じて5つに区分しています。

AA...進捗率100%以上, A...進捗率70%以上100%未満, B...進捗率40%以上70%未満, C...進捗率0%以上40%未満, C-...進捗率マイナス

施策指標名		当初値	H13	H14	H15	H16	H17	目標値 (H17)	達成度	達成状況の評価 (後期実施計画5年間)
奈良ブランド品の 全国シェア率 (%)	かき	9.8 (H11)	10.2	10.1	10.8	11.4	9.9	11.3	C	農協、生産者、県等の合意形成の場づくり、統一方針の策定、良品生産運動(=「柿づくり新世紀運動」)の展開を推進したが、気象災害に大きく影響を受けたことから、指標値は目標を大きく下回った。
	荒茶	3.48 (H11)	3.3	3.16	2.85	2.89	2.9	3.48	A	緑茶ペットボトル向けの需要が増大し、本県の生産量も増大したが、全国的な生産量の増加量がより大きかったため、指標値は目標を下回る見込み。
	いちご	2.7 (H11)	2.4	2.2	2.1	2.2	2.2	3.0	C-	農家減少に伴う作付減少と他県に比べ反収が伸びなかったことから、指標値は当初値を下回る見込み。
農産物直売所の売上高 (百万円)		919 (H11)	1365	1360	1383	1419	1447	1270	AA	この5年の売上高は、H14年度にわずかに売上を落としたが、年々利用者も増え、売上高も増加したことから、指標値は目標を達成できる見込み。
認定農業者数 (人)		957 (H11)	861	900	924	928	920	1000	C-	認定後5年を経過した認定農業者のうち、高齢化等で再認定を希望しなかった者が相当数にのぼったこと、農産物価格の低迷による生産意欲が低下したことから、指標値は当初値を下回る見込み。
農畜産の新技术開発件数 (件)		26 (H12)	25	33	33	26	21	30	C-	研究内容の高度化・効率化を図ったが、開発件数は漸減傾向にあることから、指標値は当初値を下回った。
生鮮野菜の県内自給率 (%)		89 (H9)	102	103	105	108	111	120	A	ネギ栽培の機械化など軟弱野菜産地の生産性の強化と、量販店と連携した朝採り野菜の供給体制づくり等により地場産野菜の売場の拡大が進んだことから、指標値は目標を概ね達成できる見込み。
ほ場(水田)整備率 (%)		14.8 (H11)	15.9	16.3	16.4	17	17.3	17.3	AA	4地区が完了し、継続地区においても概ね順調に進捗していることから、指標値は目標を達成できる見込み。
体験農園の利用者数 (万人)		25 (H11)		40	40	47	47	30	AA	都市住民の農業農村に対する関心の高さを背景に、市町村等が市民農園や都市農山村交流を推進するための体験施設を開設したことから、指標値は目標を達成できる見込み。
林業の新規就業者数 (人)		15 (H11)	9	23	42	61	75	100 (H13~17)	A	林業労働者の高齢化が進む中で、森林組合等の民間事業者での新規雇用を図ったことから、指標値は目標を概ね達成できる見込み。
高性能林業機械のオペレーター数 (人)		7 (H12)	12	20	33	43	50	82	B	高性能林業機械オペレーターを養成する研修施設の容量面及び安全面を考慮して、養成者数を絞ったことから、指標値は目標を下回った。
県内木材需要に対する県産材の供給率(%)		52 (H10)	49	49	50	49	50	55	C-	この5年で新設木造住宅着工戸数が、横ばいで推移したことや、他府県産材の移入が継続したことから、指標値は当初値を下回る見込み。
林業新技术成果件数(試験研究評価制度に基づく)(件)		8 (H9~12)	3	6	8	12	14	10 (H13~17)	AA	研究内容の充実や研究員の資質向上に努めたことから、指標値は目標を達成できる見込み。
新たな林道の開設による森林整備可能面積(ha)		5100 (H8~12)	972	2824	4434	5573	6689	5800 (H13~17)	AA	一部事業の見直しがあったものの、民有林道網整備計画に従って順調に推移したことから、指標値は目標を達成した。